

地域の農業を見て・知って・活かすDB ～農林業センサスを中心とした総合データベース～

活用マニュアル

地理情報システム【 QGIS 】を用いたデータの“見える化”

令和元年6月

東海農政局 統計部

地域の農業を見て・知って・活かすDB 活用マニュアル

(QGIS Ver. 2.18.13版)

農林水産省は、農業集落（全国約14万）を単位として、農林業センサスの結果と各種情報とを組み合わせ、当省が独自に加工・再編成したデータ「地域の農業を見て・知って・活かすDB」を提供しています。併せて提供する農業集落境界データとともに地理情報システムに取り込むことで、地図として“見える化”（視覚化）することができます。

このマニュアルは、地理情報システム「QGIS」を用いて、地図表示を行う操作について説明するものです。なお、QGISソフトはインストールされている前提で、このマニュアルではバージョン2.18.13を用いています。

I データの準備

Step 1	農林水産省Webサイトからデータファイルをダウンロードする	… P	1
Step 2	Excelでデータの整理・加工を行う	… P	2
Step 3	csvファイルとして保存する	… P	4
Step 4	csvファイルと対になる同名のcsvtファイルを作成し、同じフォルダに保存する	… P	4

II QGISを用いた “ 見える化 ”

Step 1	QGISを起動し、農業集落境界データとcsvファイルを取り込む	… P	6
Step 2	表示方法等を設定する	… P	7
Step 3	印刷または画像として保存する	… P	21

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

1. データの準備

Step1 農林水産省Webサイトからデータファイルをダウンロードする

1. 農林水産省Webサイト「地域の農業を見て・知って・活かすDB」から、データファイルをダウンロードします。サイトアドレスはこちら http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/index.html

農林水産省

English ミニサイト サイトマップ 文字サイズ 標準 大きく

逆引き事典から探す 組織別から探す キーワードから探す Google カスタム検索 検索

会見・報道・広報 政策情報 統計情報 申請・お問い合わせ 農林水産省について

ホーム > 統計情報 > 地域の農業を見て・知って・活かすDB ~農林業センサスを中心とした総合データベース~

コンテンツ
トップページ
統計データ
農林業センサス
国勢調査
将来推計人口
経済センサス
集落営農実態調査
行政情報等
農業基盤情報基礎調査
多面的機能支払交付金

地域の農業を見て・知って・活かすDB ~農林業センサスを中心とした総合データベース~

このページについて

- このページは、「地域の農業を見て・知って・活かすDB」を提供するページです。
- 「地域の農業を見て・知って・活かすDB」は、農業集落（全国約14万）単位として、農林業センサスの結果と各種情報とを組み合わせて農林水産省に加工・再編成したデータを提供するものです。
- 「地域の農業を見て・知って・活かすDB」により、地域農業や地域コミュニティに関する分析ができます。
- さらに、併せて提供する農業集落境界データを地理情報システム（GIS）に取り込ませることで、「地域の農業を見て・知って・活かすDB」の分

事前に作業用のフォルダーを作成しておき、すべてのファイルを同じフォルダーに格納してください。

農林業センサス

概要

2005年及び2010年、2015年農林業センサスの農業集落別集計結果データの概要は、各年のダウンロードページでご確認ください。

データ時点

2015年、2010年、2005年

原典資料

農林業センサス（農林水産省統計部）

データフォーマット【外部リンク】

データフォーマット（エクセル：143KB）

ダウンロード

2015年農林業センサス

2010年農林業センサス（2015年農業集落基準）

1. 農林業経営体_調査客体【外部リンク】

01 北海道 (エクセル: 689KB)	02 青森県 (エクセル: 198KB)	03 岩手県 (エクセル: 353KB)	04 宮城県 (エクセル: 276KB)	05 秋田県 (エクセル: 279KB)
06 山形県 (エクセル: 275KB)	07 福島県 (エクセル: 423KB)	08 茨城県 (エクセル: 392KB)	09 栃木県 (エクセル: 329KB)	10 群馬県 (エクセル: 366KB)
11 埼玉県 (エクセル: 438KB)	12 千葉県 (エクセル: 60KB)	13 東京都 (エクセル: 104KB)	14 神奈川県 (エクセル: 503KB)	15 新潟県 (エクセル: 232KB)
16 富山県 (エクセル: 232KB)	17 石川県 (エクセル: 206KB)	18 福井県 (エクセル: 369KB)	19 山梨県 (エクセル: 227KB)	20 長野県 (エクセル: 474KB)
21 岐阜県 (エクセル: 223KB)	22 静岡県 (エクセル: 267KB)	23 愛知県 (エクセル: 269KB)	24 三重県 (エクセル: 227KB)	25 滋賀県 (エクセル: 172KB)
26 京都府 (エクセル: 194KB)	27 大阪府 (エクセル: 166KB)	28 兵庫県 (エクセル: 408KB)	29 奈良県 (エクセル: 161KB)	30 和歌山県 (エクセル: 179KB)
31 鳥取県 (エクセル: 32KB)	32 島根県 (エクセル: 33KB)	33 岡山県 (エクセル: 34KB)	34 広島県 (エクセル: 35KB)	35 山口県 (エクセル: 36KB)

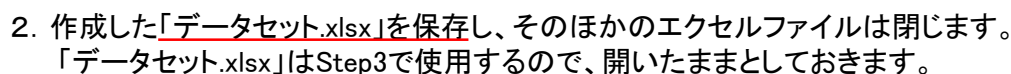
上・左図は、「2015年農林業センサス」の「農林業経営体_調査客体」をダウンロードする例です。

利用するデータと分析指標

データ	ファイル名	項目名
2015年農林業センサス	農林業経営体_調査客体 SA0001_2015_2015_23.xlsx	・KEY(A列)~RCOM_NAME(I列) ・農業経営体(N列)
多面的機能支払交付金	GC0001_2014_2015_23.xlsx	・活動計画_農地維持支払_対象 農用地_計(Z列)
中山間地域等直接支払交付金	GD0001_2014_2015_23.xlsx	・対象農用地の有無(J列)
農業集落境界データ	農業集落境界データ MA0001_2015_2015_23.zip 市区町村境界データ MA0003_2015_2015_23.zip	※圧縮フォルダー形式 (圧縮フォルダーを解凍し、中の フォルダーを別の場所にコピー して利用します。)

Step2 Excelでデータの整理・加工を行う

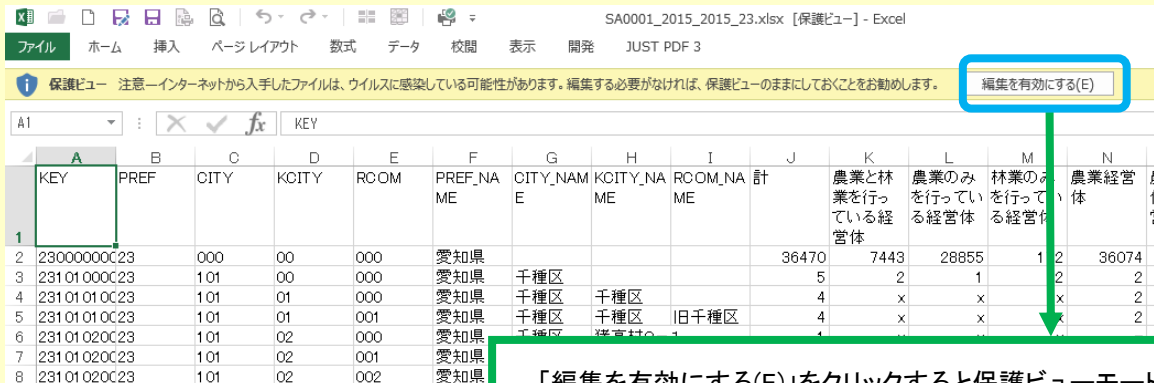
新規エクセルファイル(ファイル名:データセット.xlsx)を作成し、「農林業経営体_調査客体(SA0001_2015_2015_23.xlsx)のデータ(A列～I列、N列)」、「多面的機能支払交付」(GC0001_2014_2015_23.xlsx)のデータ(Z列)、「中山間地域等直接支払交付金」(GD0001_2014_2015_23.xlsx)のデータ(J列)を貼り付けます。



「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

注意！

ダウンロードしたエクセルファイルを開いたとき、保護ビューモードになっている場合は、これを解除してからコピーしてください。

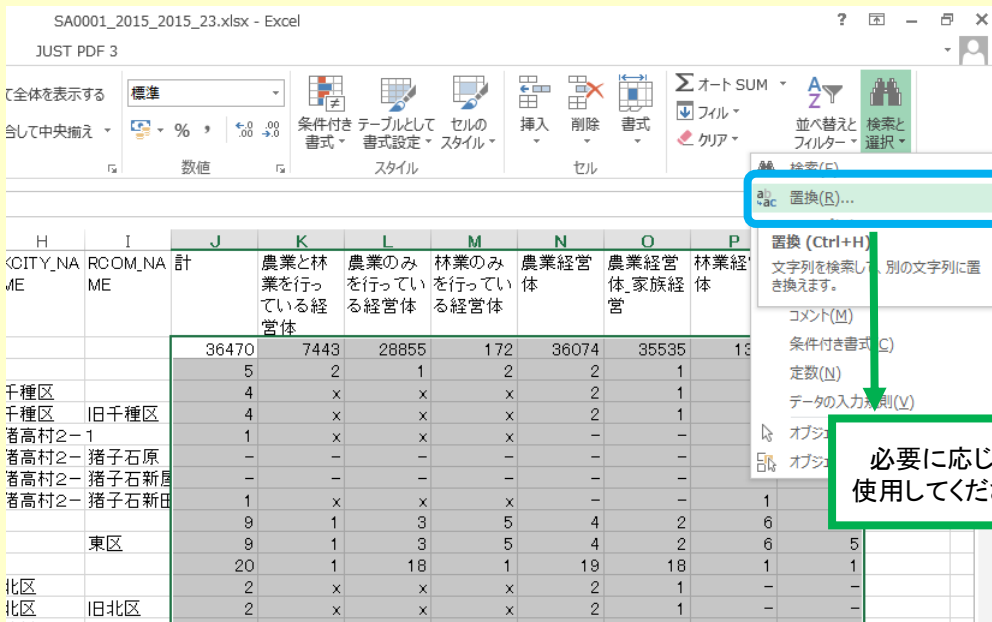


「編集を有効にする(E)」をクリックすると保護ビューモードが解除され、編集できるようになります。

注意！

ダウンロードしたエクセルファイルのデータには、秘匿などの数値以外の統計記号が含まれていることがあります。分析に支障がある場合は、エクセルの置換機能を使用して統計記号以外に変換してください。

置換の例 秘 匿 「X」 → 空欄
 事実がない 「ー」 → 「0(ゼロ)」
 事実不詳 「…」 → 空欄



必要に応じ置換機能を使用してください。

※ 「X」、「ー」、「…」などの統計記号を、文字列データとして使用する(地図表示させる)方法もありますが、ここでは省略します。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

Step3 csvファイルとして保存する

- Step2で開いたままとしている「データセット.xlsx」で、「名前をつけて保存」の操作を行います。このとき、「ファイル名」は変更せず、「ファイルの種類」のみ「CSV(カンマ区切り) (*.csv)」へ変更します。このファイルは、Step4で使用するため開いたままとしておきます。

ファイル名(N): データセット.csv
ファイルの種類(I): CSV(カンマ区切り) (*.csv)
作成者:

注意！

CSVファイルを作成する際、位取り、折り返し、罫線等セルの書式設定を行っていると、不要なデータまで保存したり、カンマ区切り位置がずれることがあるので、すべて解除あるいは削除してから保存してください。

また、入力文字をセル内で改行している場合、Q GISにおいて正しく認識できないので、セル内改行を解除してから保存してください。

また、「ファイルの拡張子を表示する」設定としていないと、これ以降の作業に支障があります。事前にファイルの拡張子が表示されているか確認し、表示されていない場合は必ず設定を変更しておいてください。

Step4 csvファイルと対になる同名のcsvtファイルを作成し、同じフォルダに保存する

- Step3でCSV形式としたエクセルファイルで、各列データの属性を「文字」又は「数値」として指定します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	KEY	PREF	CITY	KCITY	RCOM	PREF_NAM	CITY_NAM	KCITY_NAM	RCOM_NAM	農業経営体活動計画	対象農用地の有無	
2	String	String	String	String	String	String	String	String	String	Real	Real	Real
3	23000000023	000	00	000	愛知県	千種区				36074	30103	1
4	23101000023	101	00	000	愛知県	千種区				2	0	0
5	23101010023	101	01	000	愛知県	千種区	千種区			2	0	0

1行目(表頭)と2行目(データ行の先頭)の間に行挿入し、「A2 (KEY)」～「I2 (RCOM_NAME)」に「String」を、「J2 (農業経営体)」～「L2 (対象農用地の有無)」に「Real」を、半角英字で入力してください(大文字・小文字の区別はありません。).

なお、「String」は文字データ、「Real」は数値データであることを表します。

- 新しいシートを追加し、データ属性(「String」又は「Real」)を入力した行(2行目)をコピーします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	KEY	PREF	CITY	KCITY	RCOM	PREF_NAM	CITY_NAM	KCITY_NAM	RCOM_NAM	農業経営体活動計画	対象農用地の有無	
2	String	String	String	String	String	String	String	String	String	Real	Real	Real
3	23000000023	000	00	000	愛知県	千種区				36074	30103	1
4	23101000023	101	00	000	愛知県	千種区				2	0	0
5	23101010023	101	01	000	愛知県	千種区	千種区			2	0	0
6	23101010023	101	01	001	愛知県	千種区	千種区	旧千種区		2	0	0
7		02	000	愛知県	千種区	高村2-1				-	0	0

作業中のシート

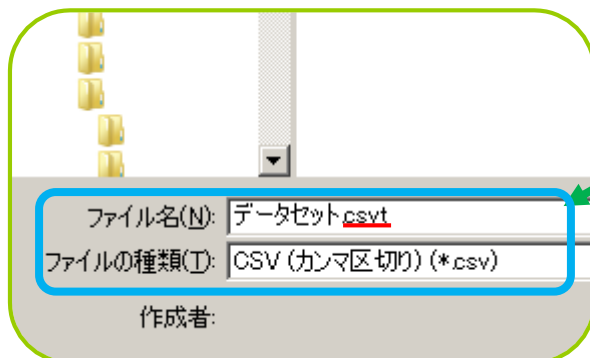
2行目をコピーして、新しいシートの1行目に貼り付けます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	String	String	String	String	String	String	String	String	String	Real	Real	Real
2												
3												

新しいシート

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

3. 前項で追加した新しいシートを残し、データのある元シートを削除します。
4. 「名前を付けて保存」を行い、「ファイル名」を「データセット.csv~~t~~」（既定で表示されるファイル名の後ろに~~t~~を追加）、「ファイルの種類」を「CSV(カンマ区切り)(*.csv)」として保存します。



ファイル名を「データセット.csv~~t~~」、ファイルの種類を「CSV(カンマ区切り) (*.csv)」として保存してください。
保存先は、必ず「データセット.csv」と同じフォルダにしてください。
(Q GISではCSVファイルを読み込むとき、同時に同じフォルダ内にある同一名称のcsvtファイルを読み込みます。)

注意！

次の操作は、必ず、ファイルの拡張子が表示される設定にしてから行ってください。

5. 作成したファイル名称「データセット.csvt.csv」から「.csv」を削除し、「データセット.csvt」に修正します。

SA0001_2010_2010_21.xlsx	2016/07/05 8:54	Microsoft Excel ワークシート	324 KB
データセット.csv	2016/07/05 11:46	Microsoft Excel CSV ファイル	219 KB
データセット.csvt.csv	2016/07/05 13:34	Microsoft Excel CSV ファイル	1 KB
データセット.xlsx	2016/07/05 11:46	Microsoft Excel ワークシート	242 KB
マニュアル.xlsx	2016/07/01 9:10	Microsoft Excel ワークシート	752 KB

SA0001_2010_2010_21.xlsx	2016/07/05 8:54	Microsoft Excel ワークシート	324 KB
データセット.csv	2016/07/05 11:46	Microsoft Excel CSV ファイル	219 KB
データセット.csvt	2016/07/05 13:34	CSV ファイル	1 KB
データセット.xlsx	2016/07/05 11:46	Microsoft Excel ワークシート	242 KB
マニュアル.xlsx	2016/07/01 9:10	Microsoft Excel ワークシート	752 KB

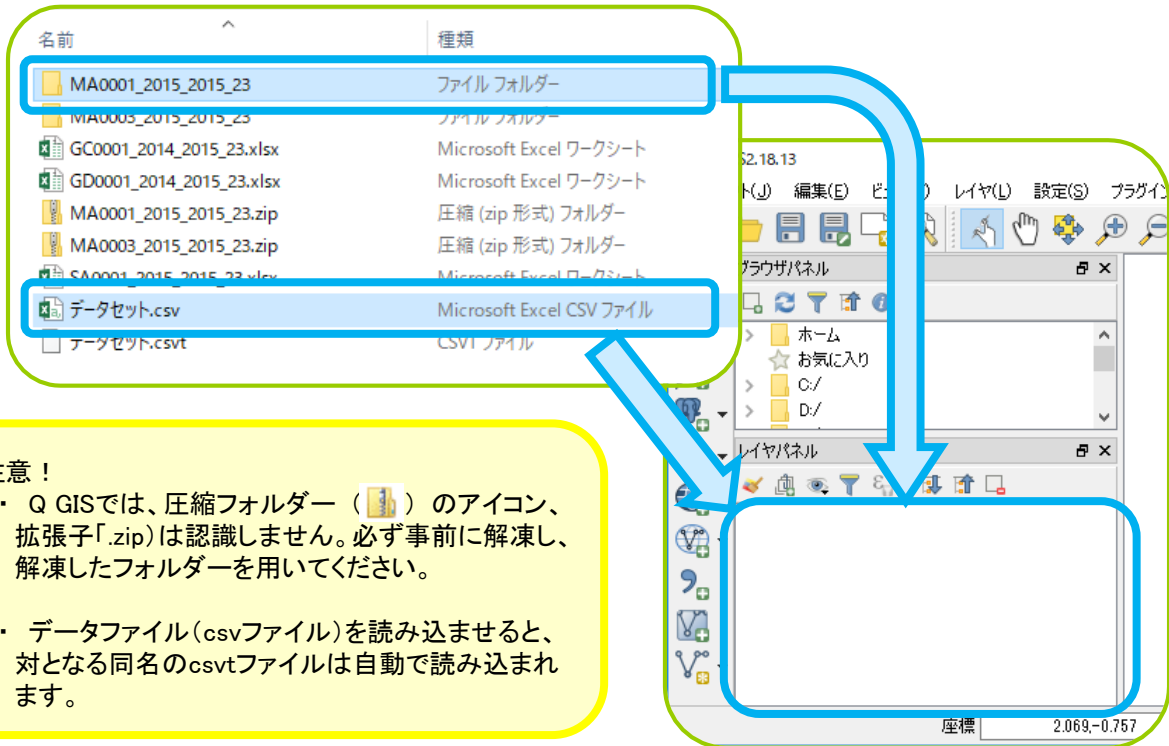
6. 以下の3ファイルが同一フォルダ内に保存されていることを確認してください。
 - ・ データセット.xlsx (このファイルはQ GISでは使用しないが、バックアップとして保存しておく)
 - ・ データセット.csv
 - ・ データセット.csvt確認したら、エクセルを閉じます。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

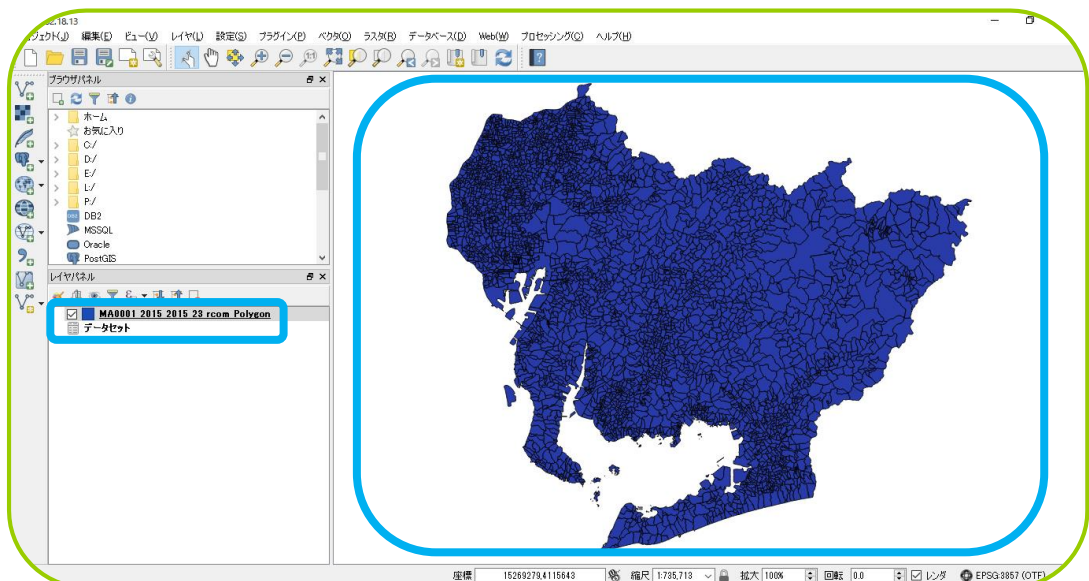
II. QGISを用いた“見える化”

Step1 QGISを起動し、農業集落境界データとcsvファイルを取り込む

1. 「QGIS Desktop 2.18.13」を起動し、「MA0001_2015_2015_23」フォルダと「データセット.csv」ファイルをQGISの「レイヤパネル」欄へドラッグ＆ドロップします。



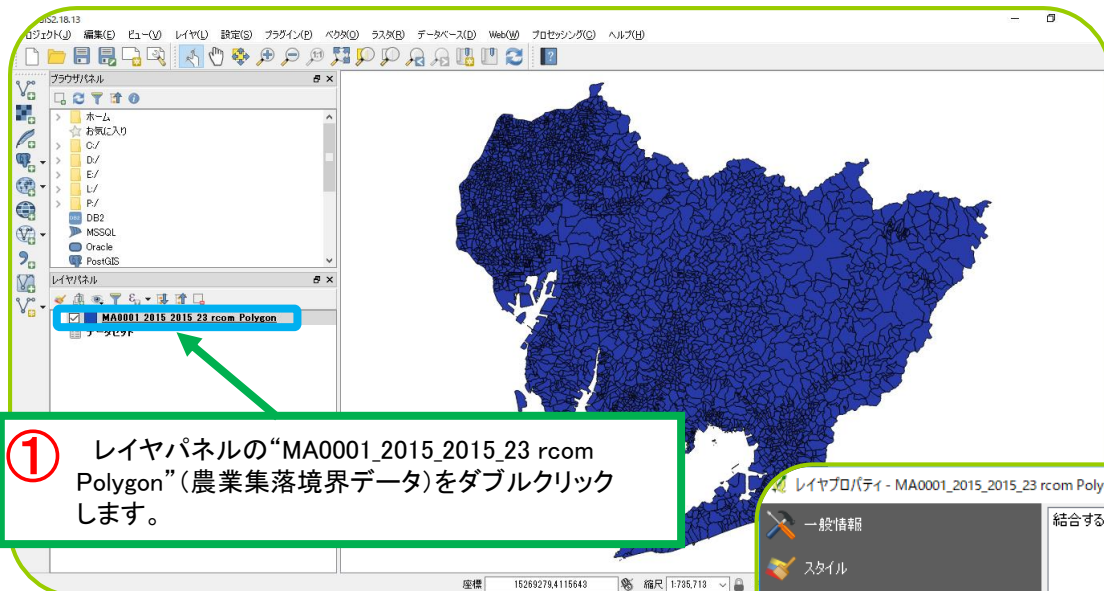
農業集落境界の地図が表示されます。



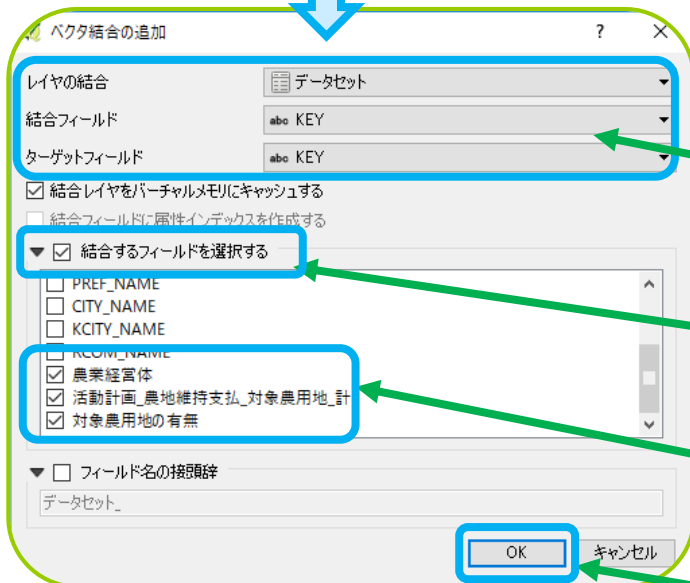
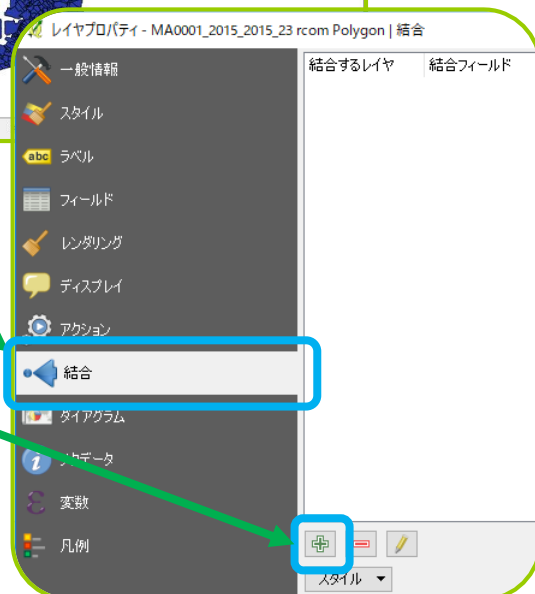
「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

Step2 表示方法等を設定する

1. 「農業集落境界データ」(地図データ)と「データセット.csv」ファイル内のデータを関連付けるため、レイヤを結合させます。



- ② 「レイヤプロパティ」画面が開くので、左に表示されたメニューから「結合」をクリックします。
画面が変化するので、下部の「+」をクリックします。



- ③ 「ベクタ結合の追加」画面が表示されるので、以下ア～エのとおり操作します。
ア レイヤの結合:「データセット」、
結合フィールド:「KEY」、
ターゲットフィールド:「KEY」、
と設定します。

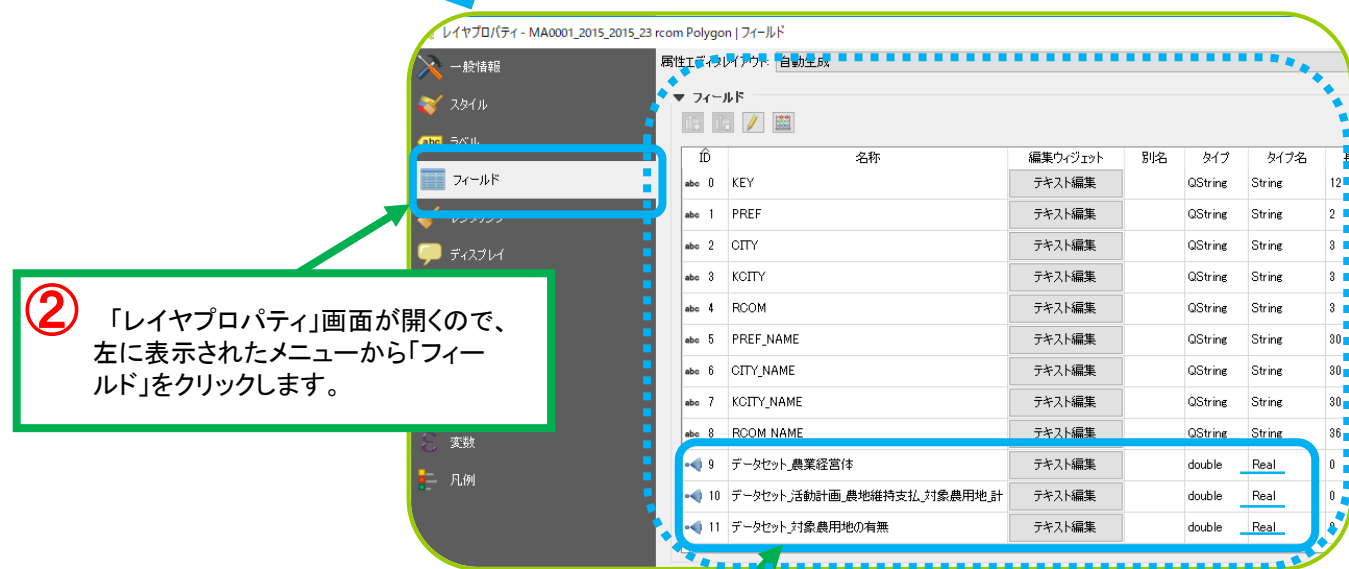
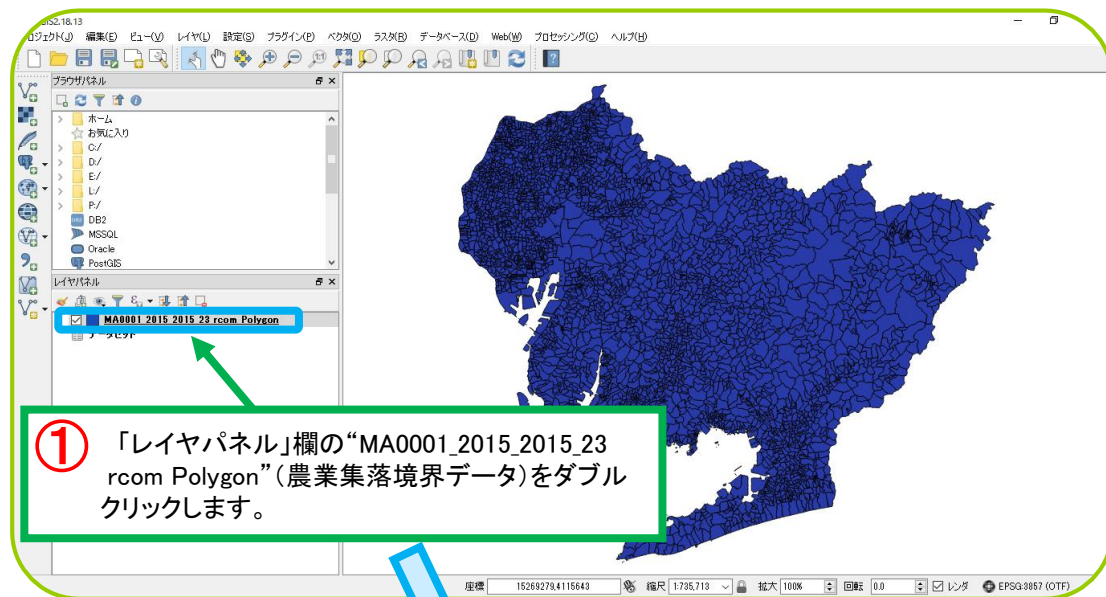
イ 「結合するフィールドを選択する」にチェックを入れます。

ウ 結合する項目(ここでは、「農業経営体」以降のすべてのデータ項目)にチェックを入れます。

エ ア～ウを設定したら「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

2. 結合したCSVデータがQ GISにおいて正しく認識されているか確認します。



③ 「フィールド」画面に変化するので、結合した3つのフィールドの「タイプ名」が「Real」になっているか確認します。「String」になっている場合はcsvtファイルをメモ帳で開き、下記のとおり記述されているか確認してください。

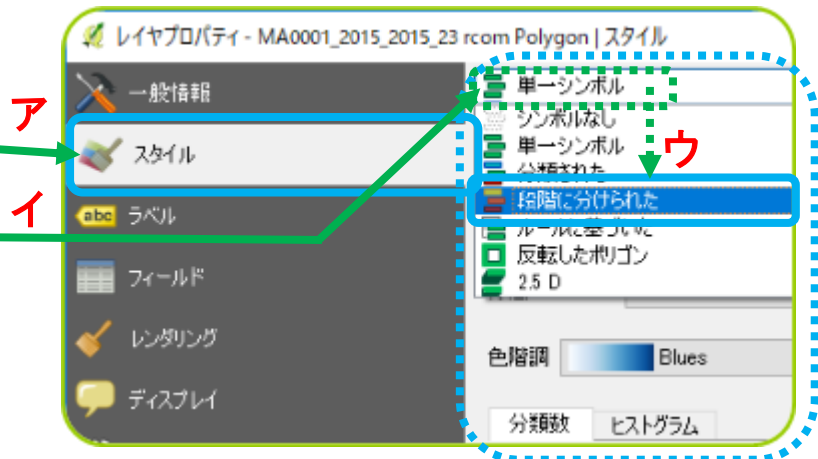
「String,String,String,String,String,String,String,String,String,String,Real,Real,Real」

※ 大文字、小文字の別はないので、どちらでも構いません。
語句と語句の間は「,」(半角のカンマ)で区切ります。ただし、最後の語句の後ろは不要です。

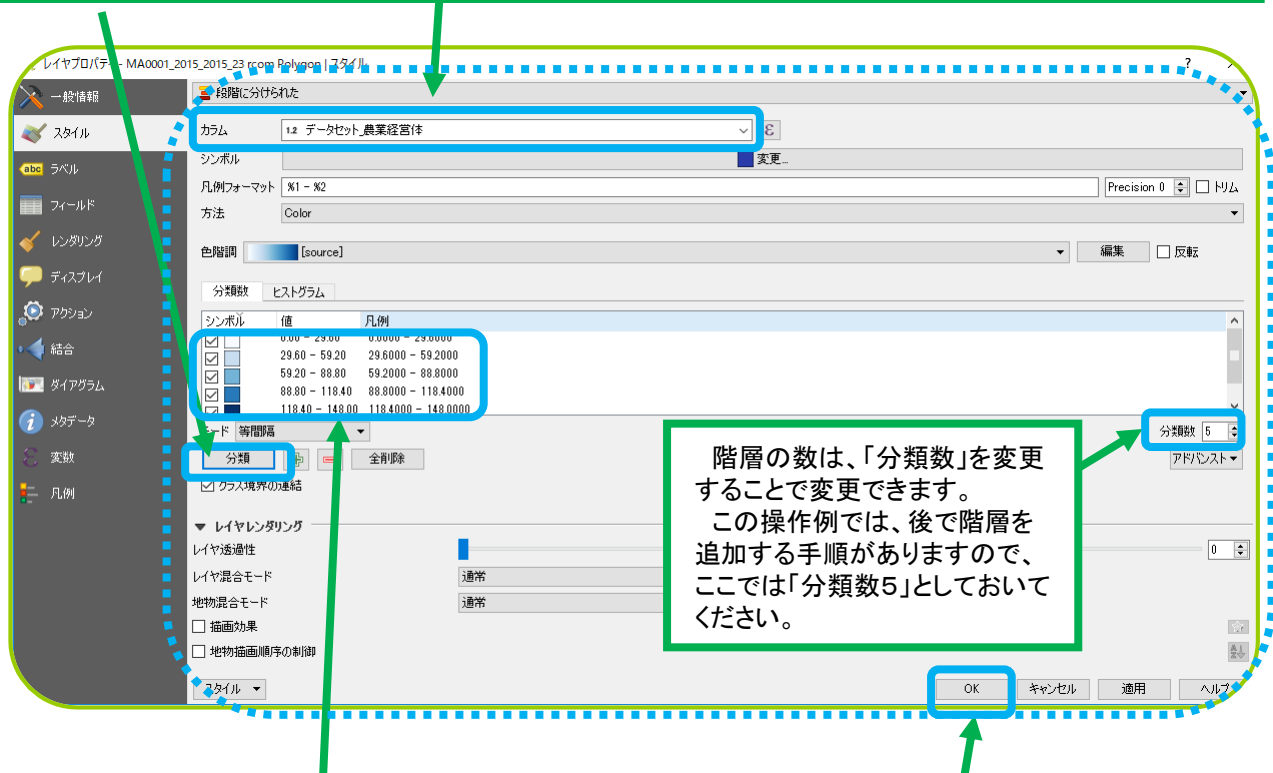
「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

3. 結合したcsvファイルのデータを基に、農業集落を階層別に塗り分けする設定を行います。

- ① ア 左に表示されたメニューから「スタイル」をクリックします。
イ 右側画面がスタイルの設定画面に変わるので、現在表示されているスタイルの区分（既定は「単一シンボル」）をクリックします。
ウ 選択できるスタイルの一覧が表示されるので、「段階に分けられた」を選択します。



- ② 「段階に分けられた」画面に変化するので、「カラム」欄の右にあるプルダウンボタン(▼)をクリックして展開、「データセット_農業経営体」を選択して「分類」ボタンをクリックします。



- ③ 「OK」ボタンをクリックすると画面が閉じ、地図が階層分けされます。

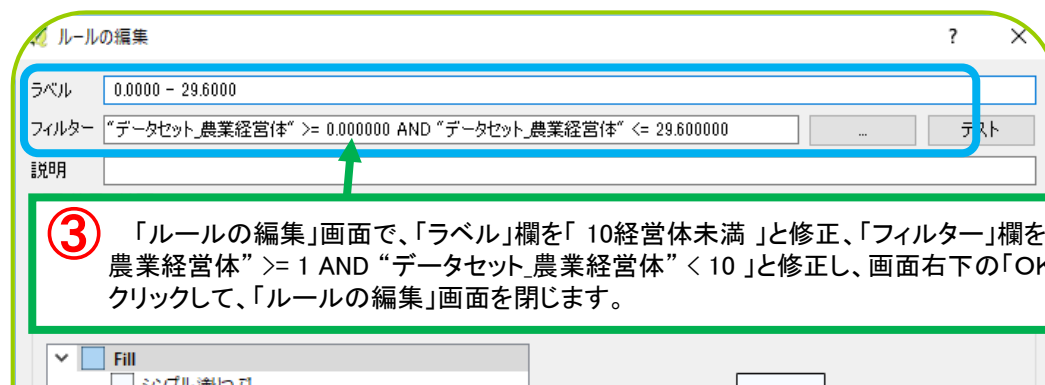
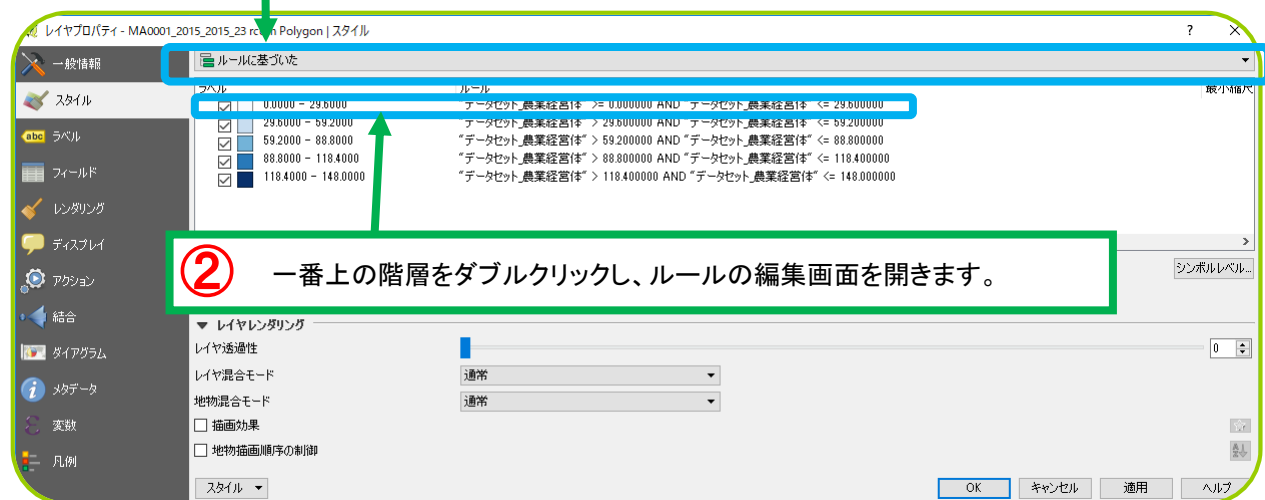
階層区分ごとに設定変更する方法は次項で説明しますが、各項目をダブルクリックすることで、個別に設定を変更する方法もあります。

- 「シンボル」欄 → 塗り分けの色やパターンを変更できます。
「値」欄 → 階層の数値範囲を変更できます。
ただし、数値範囲は低い値が「以下(=値を含む)」、高い値が「超える(=値を含まない)」と設定されます。
「凡例」欄 → 凡例に表示される文字を変更できます。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

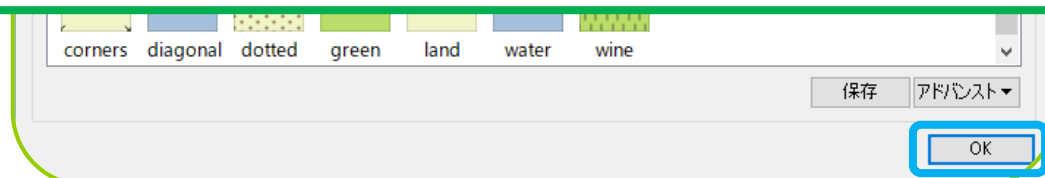
4. 階層の範囲及び塗り分けの設定を変更します。

- ① 分類区分「段階に分けられた」を、右側にあるプルダウンボタン(▼)で「ルールに基づいた」に変更します。



- ④ ②～③を繰り返し、全ての階層を以下のとおりに修正します。

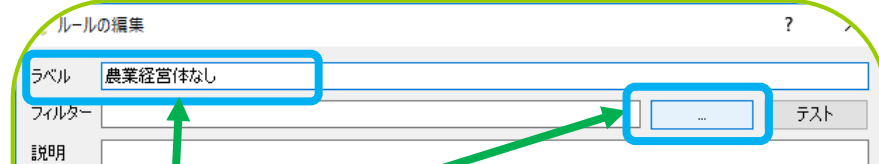
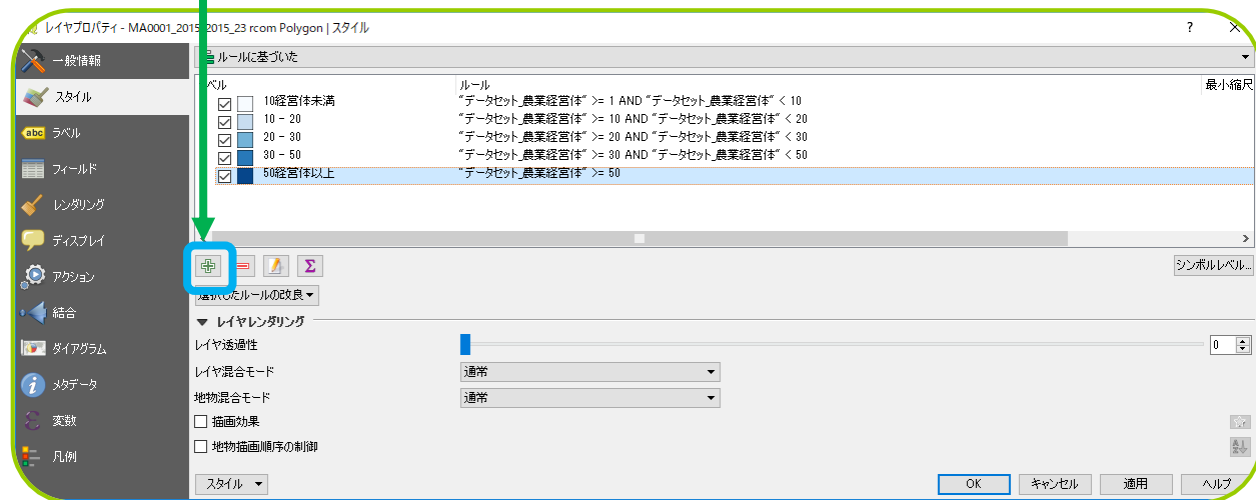
- 2番目
「ラベル」 「10 ～ 20」
「フィルター」 「“データセット_農業経営体” >= 10 AND “データセット_農業経営体” < 20」
- 3番目
「ラベル」 「20 ～ 30」
「フィルター」 「“データセット_農業経営体” >= 20 AND “データセット_農業経営体” < 30」
- 4番目
「ラベル」 「30 ～ 50」
「フィルター」 「“データセット_農業経営体” >= 30 AND “データセット_農業経営体” < 50」
- 5番目
「ラベル」 「50経営体以上」
「フィルター」 「“データセット_農業経営体” >= 50」



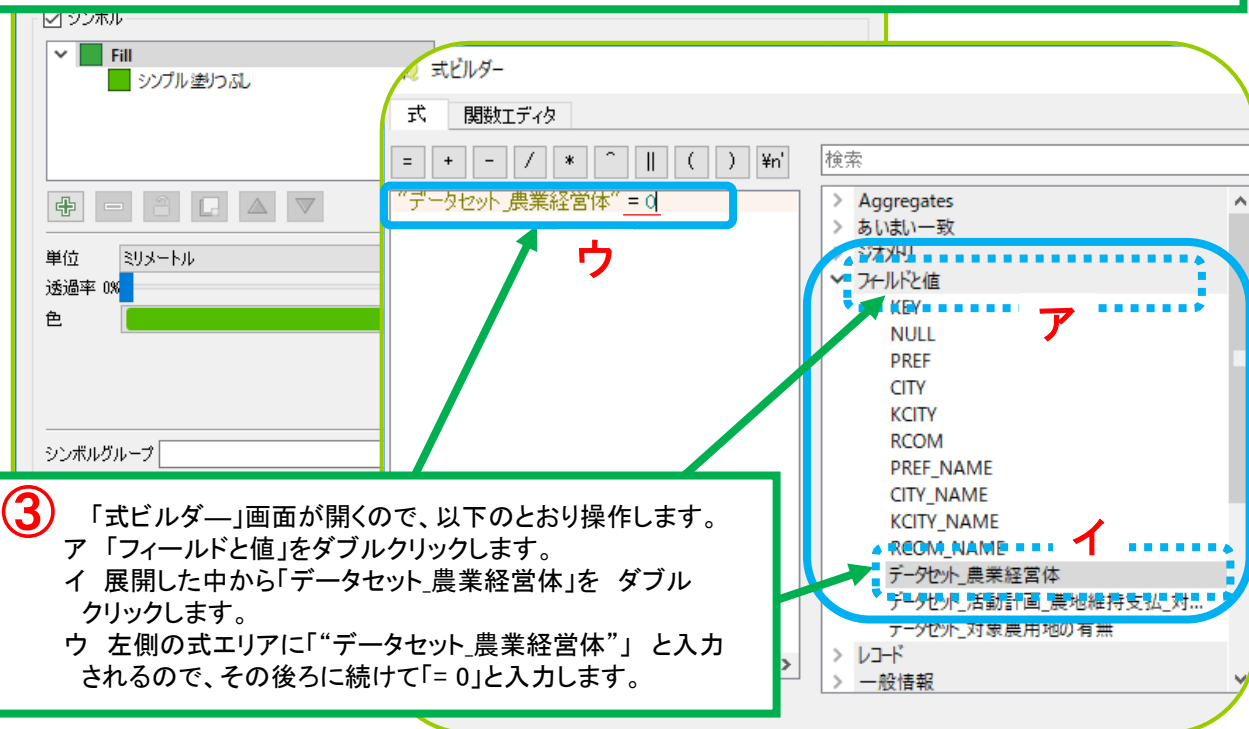
「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

5. 階層を追加します。

① 「+」をクリックし、ルールを追加します。

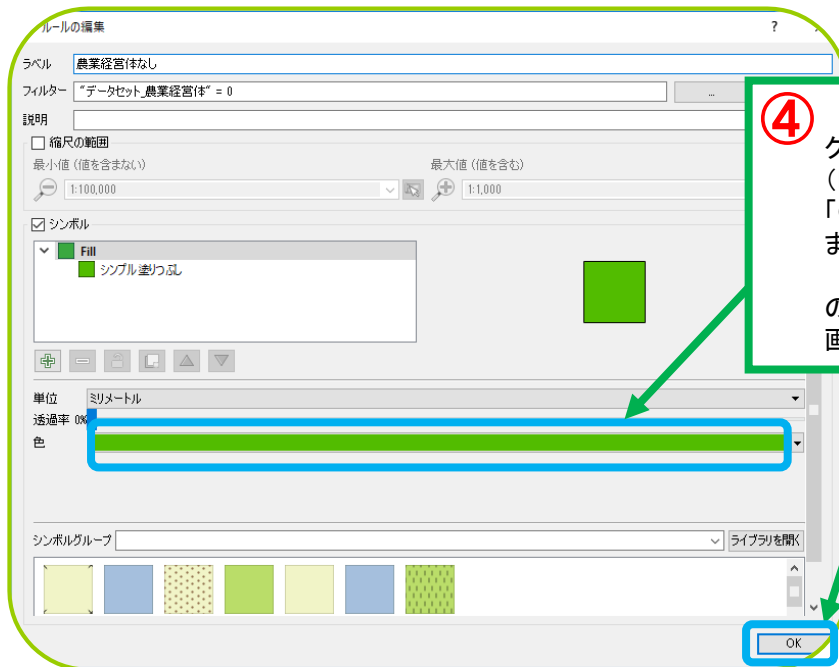


② 「ルールの編集」画面が開くので、「ラベル」欄に「農業経営体なし」と入力し、フィルター欄の「…」ボタンをクリックします。



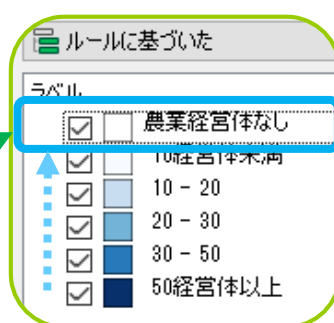
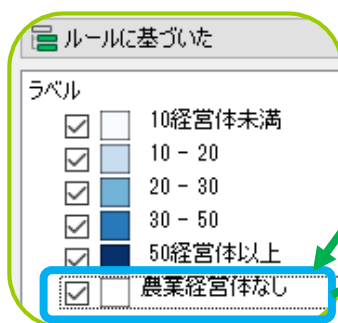
③ 「式ビルダー」画面が開くので、以下のとおり操作します。
ア 「フィールドと値」をダブルクリックします。
イ 展開した中から「データセット_農業経営体」をダブルクリックします。
ウ 左側の式エリアに「「データセット_農業経営体」」と入力されるので、その後ろに続けて「= 0」と入力します。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

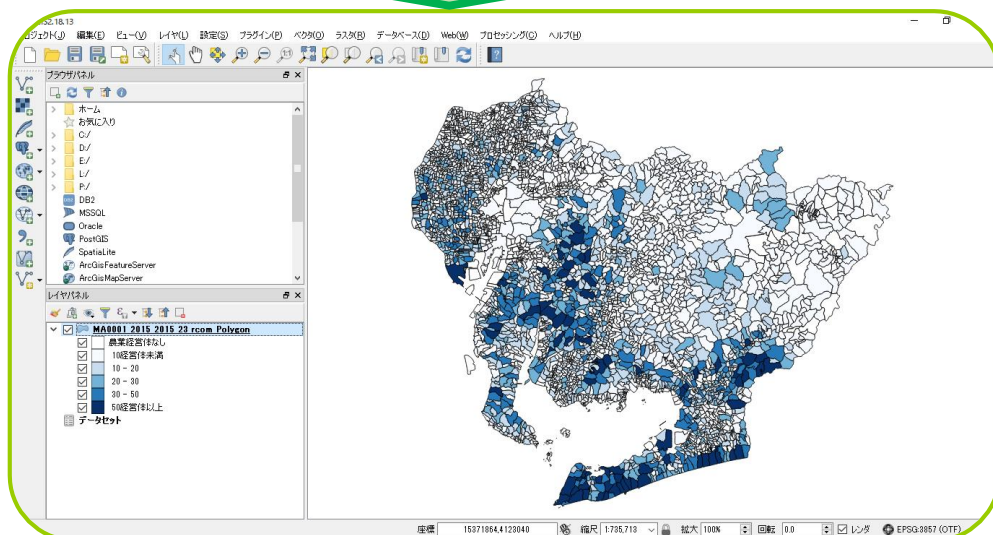


- ④ 「色」欄で、現在表示されている色の部分をクリックすると「色選択」画面が開くので、白色 (RGB: 255.255.255) に変更し、画面右下の「OK」ボタンをクリックして「色選択」画面を閉じます。
- 色を変更したら、「ルール編集」画面右下の「OK」ボタンをクリックして「ルール編集」画面を閉じます。

- ⑤ 「農業経営体なし」をドラッグ & ドロップし、一番上に配置します。

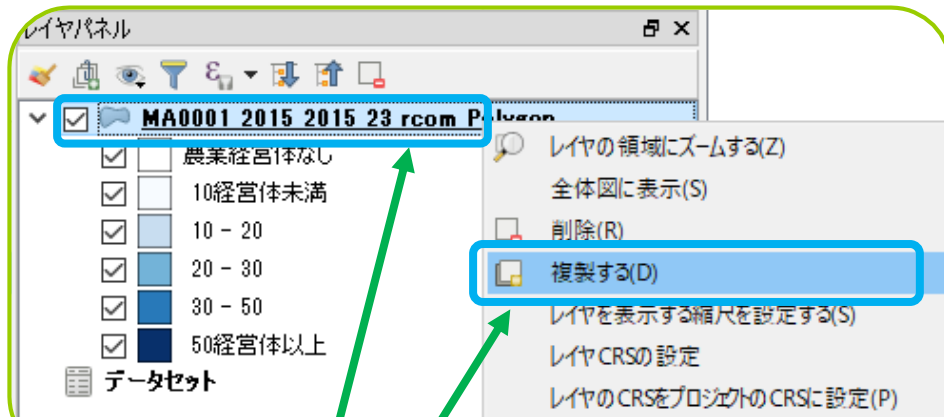


- ⑥ 「レイヤプロパティ」画面右下の「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。
- 「農業経営体」数で塗り分けられた地図が表示されます。

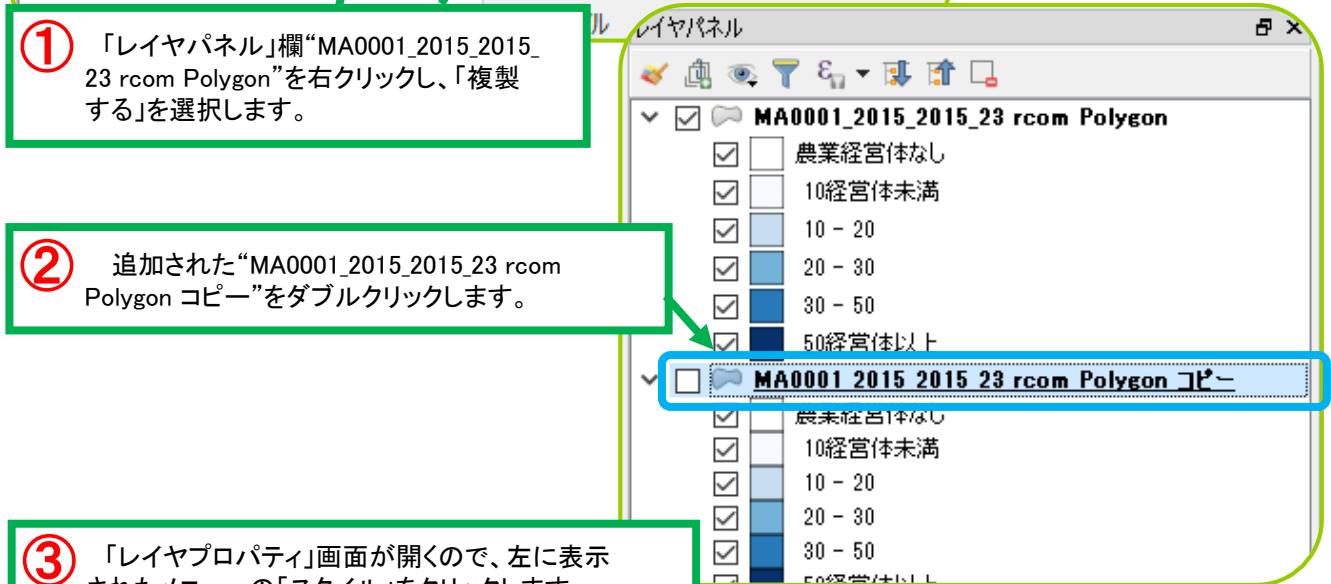


「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

6. 「多面的支払有」のデータを地図に重ねます。

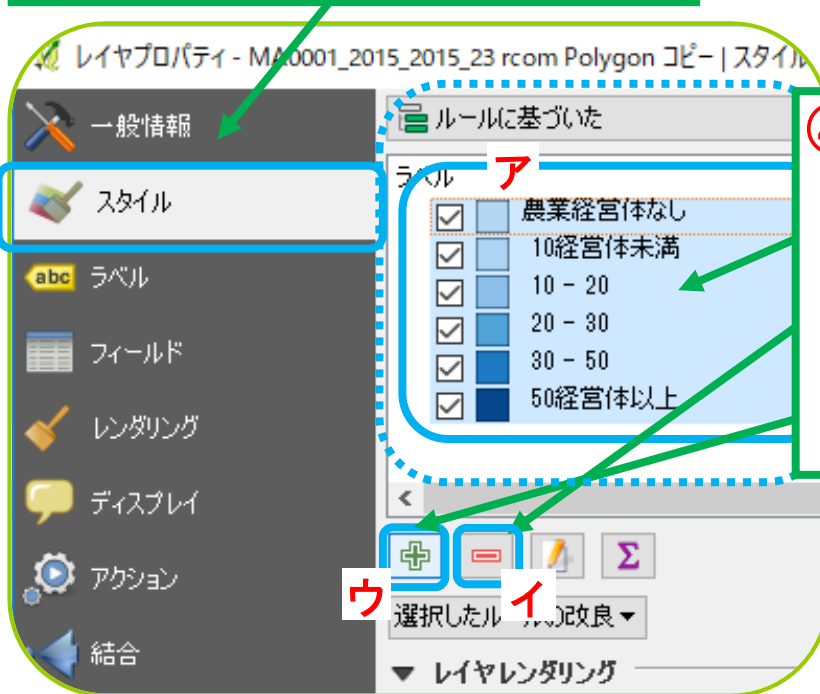


① 「レイヤパネル」欄“MA0001_2015_2015_23 rcom Polygon”を右クリックし、「複製する」を選択します。



② 追加された“MA0001_2015_2015_23 rcom Polygon コピー”をダブルクリックします。

③ 「レイヤプロパティ」画面が開くので、左に表示されたメニューの「スタイル」をクリックします。（「スタイル」が表示されていれば、そのまま④へ進みます。）



④ 右側の画面が変化するので、以下のとおり操作します。

ア 表示されている全てのルールを選択(青地に反転)します。

イ 「-」をクリックしてルールを削除します。

ウ 「+」をクリックしてルールを追加します。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

ルール編集

ラベル 多面的支払有

フィルター

説明

...

テスト

⑤ 「ルール編集」画面が開くので、「ラベル」欄を「多面的支払有」に修正し、「フィルター」欄の「…」ボタンをクリックします。

⑥ 「式ビルダー」画面が開くので、以下のとおり操作します。

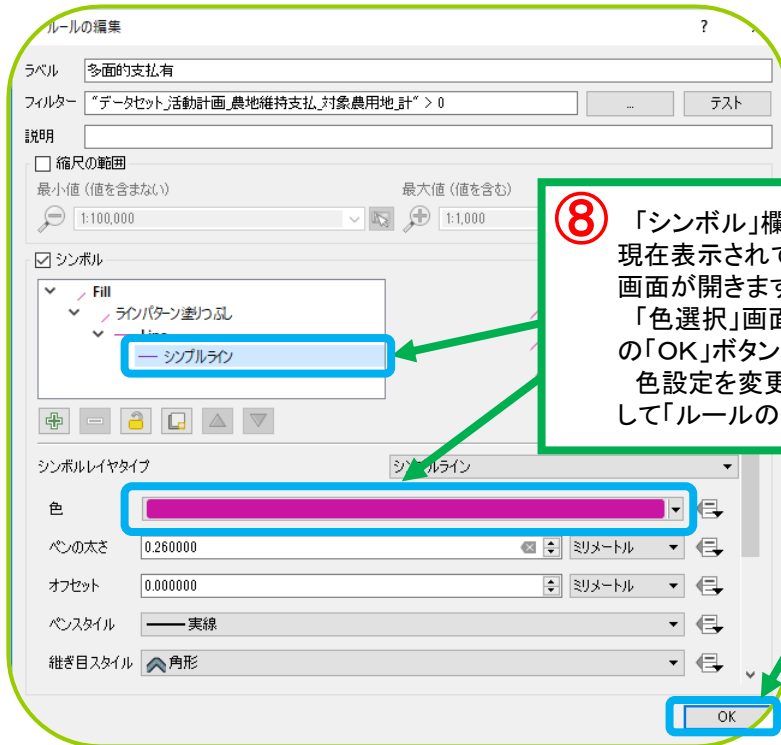
ア 「フィールドと値」をダブルクリックします。

イ 展開した中から「データセット_活動計画_農地維持支払_対象農用地_計」をダブルクリックします。

ウ 左側の式エリアに「データセット_活動計画_農地維持支払_対象農用地_計」と入力されますので、その後ろに続けて「> 0」と入力します。

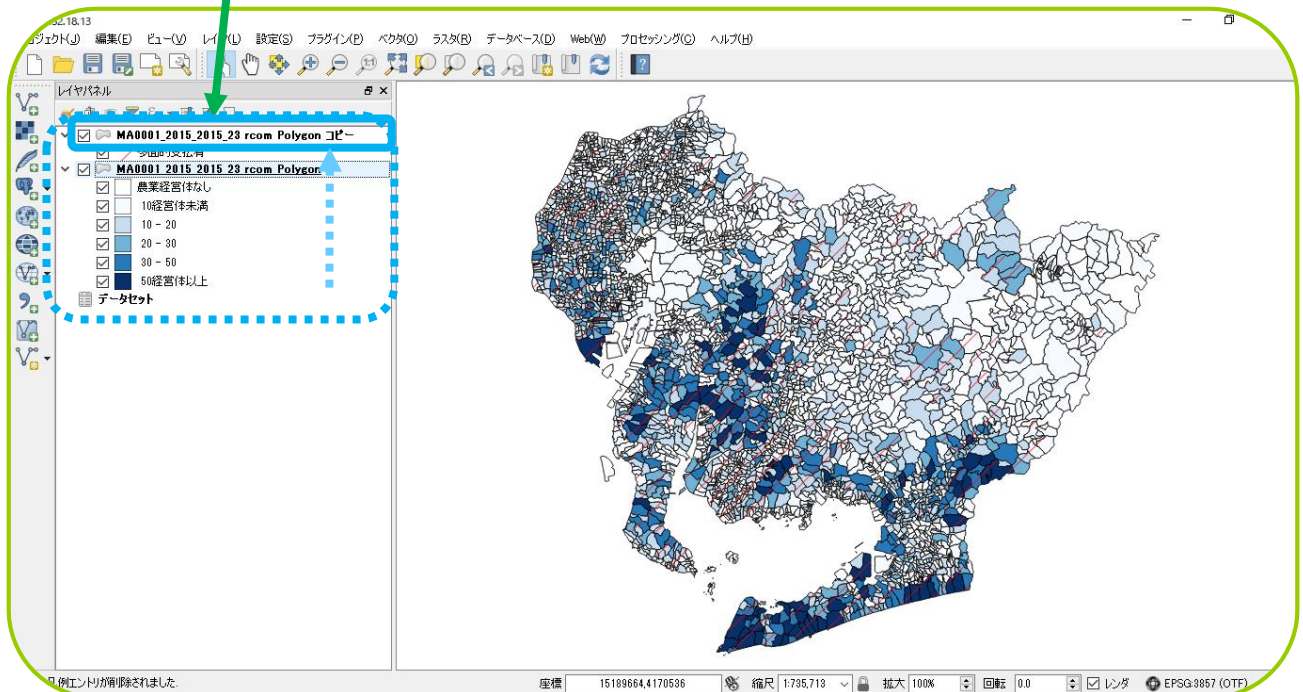
Figure 1 shows the 'Rule Collection' dialog box. The 'Symbol' rule is selected. The 'Symbol Layer Type' is 'Symbol Fill'. The 'Fill' property is 'Line Pattern Fill'. The 'Line Pattern Fill' property is 'Line Pattern Fill'. The 'Rotation' is 45.00 degrees, and the 'Distance' is 5.000000. The 'Offset' is 0.000000. The 'Drawing Effect' is unchecked. A red circle with the number 7 is placed over the 'Symbol' rule in the list. A green dashed box highlights the 'Rotation' and 'Distance' fields. A green dashed box highlights the 'Offset' field. A green dashed box highlights the 'Drawing Effect' field. A green dashed box highlights the 'OK' button.

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」



- ⑧ 「シンボル」欄で「シンプルライン」をクリックし、「色」欄で現在表示されている色の部分をクリックすると「色選択」画面が開きます。
「色選択」画面で赤色 (RGB: 255.0.0) に変更、画面右下の「OK」ボタンをクリックして「色選択」画面を閉じます。
色設定を変更したら、画面右下の「OK」ボタンをクリックして「ルール編集」画面を閉じます。

- ⑨ “MA0001_2015_2015_23 rcom Polygonコピー”にチェックを付け、“MA0001_2015_2015_23 rcom Polygon”の上位にドラッグ&ドロップすると、重ね合わせの地図が表示されます。
(チェックの有無で、地図の表示・非表示を切り替えられます。また、レイヤの位置が上位にあると、重ね合わせた地図データの手前(上)に表示されます。)

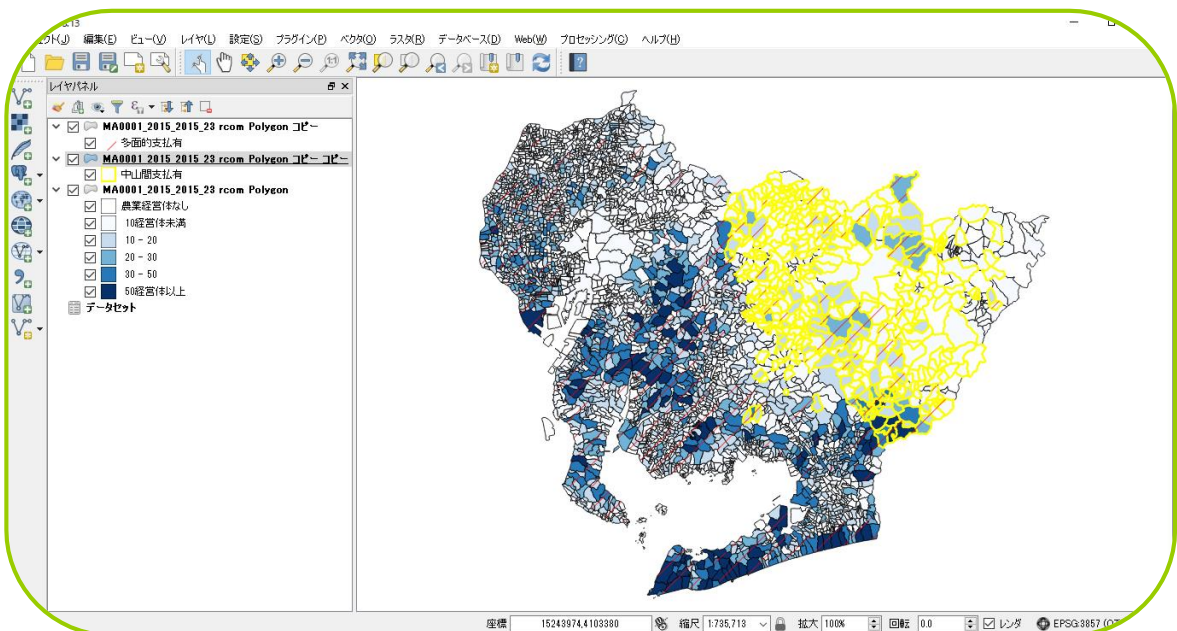
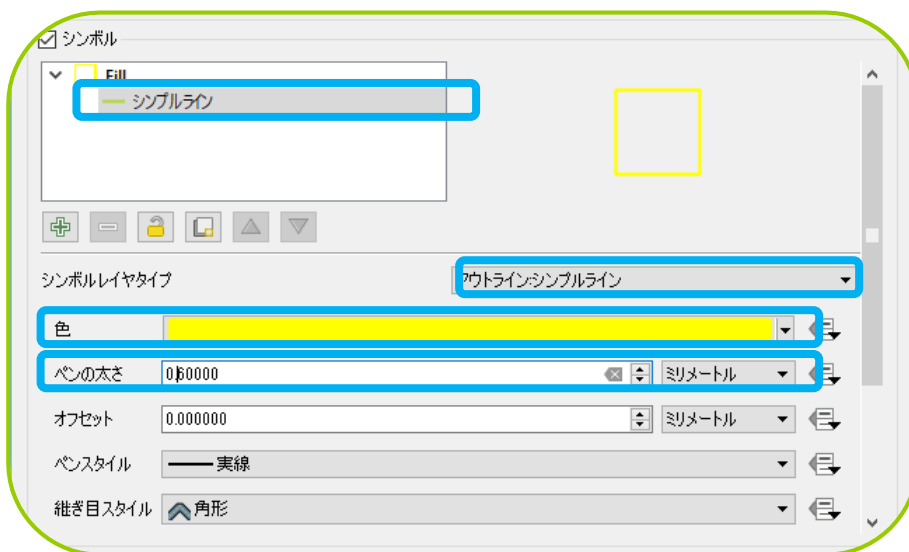


「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

7. 「中山間支払有」の地図を重ね合わせます。

「中山間支払い」についても、「6. 「多面的支払有」の地図を重ね合わせます。」と同様の手順により、レイヤを追加・編集します。

- ・ 「MA0001_2015_2015_23 rcom Polygon コピー」の複製 （6-①参照）
- ・ 複製した「MA0001_2015_2015_23 rcom Polygon コピー コピー」のスタイル編集 （6-②参照）
- ・ 複製されているルールの削除及び新規追加 （6-③～④参照）
- ・ ラベルを「中山間支払有」に修正 （6-⑤参照）
- ・ フィルターを「データセット_対象農用地の有無」= 1に修正 （6-⑤～⑥参照）
- ・ 「ラインパターン塗りつぶし」「アウトライン: シンプルライン」に修正 （6-⑦参照）
- ・ 「色」を黄色に、「ペンの太さ」を「0.6」ミリメートルに修正 （6-⑧参照）
- ・ 「MA0001_2015_2015_23 rcom Polygon コピー コピー」レイヤにチェックを付け、「MA0001_2015_2015_23 rcom Polygon」の上位にドラッグ&ドロップ （6-⑨参照）



「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

8. 特定の市町村のみの地図を表示する方法

以下は、豊田市(市町村コード「211」)のみを表示させる操作例です。

① 解凍済みの「市区町村境界データ(フォルダー名 MA0003_2015_2015_23)」フォルダーをQ GISのレイヤパネルにドラッグ & ドロップして読み込ませます。

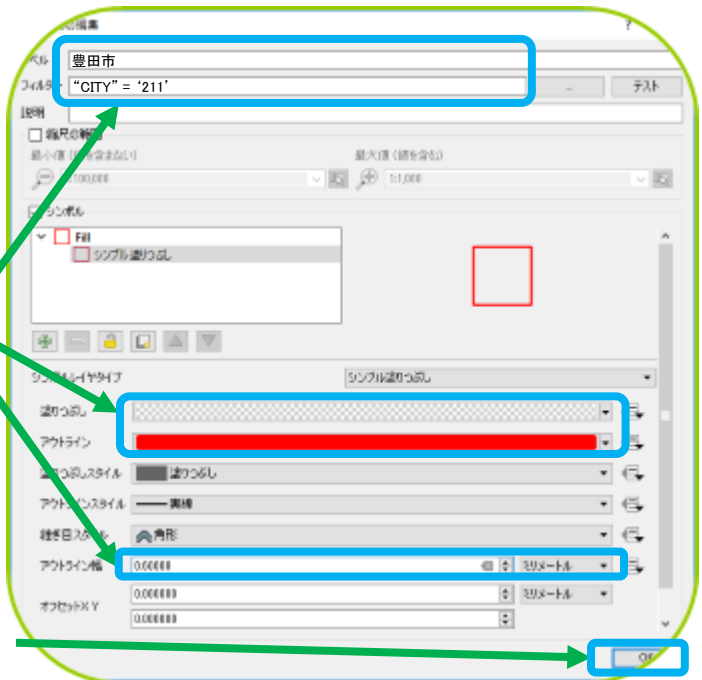
② 追加された「MA0003_2015_2015_23 city Polygon」レイヤをダブルクリックします。

③ スタイルを「ルールに基づいた」に変更し、「+」ボタンを押してルールを追加します(既にルールが設定されている場合は削除してください)。

④ 「ルールの編集」画面で以下のように変更・修正します。変更・修正したら、右下の「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。

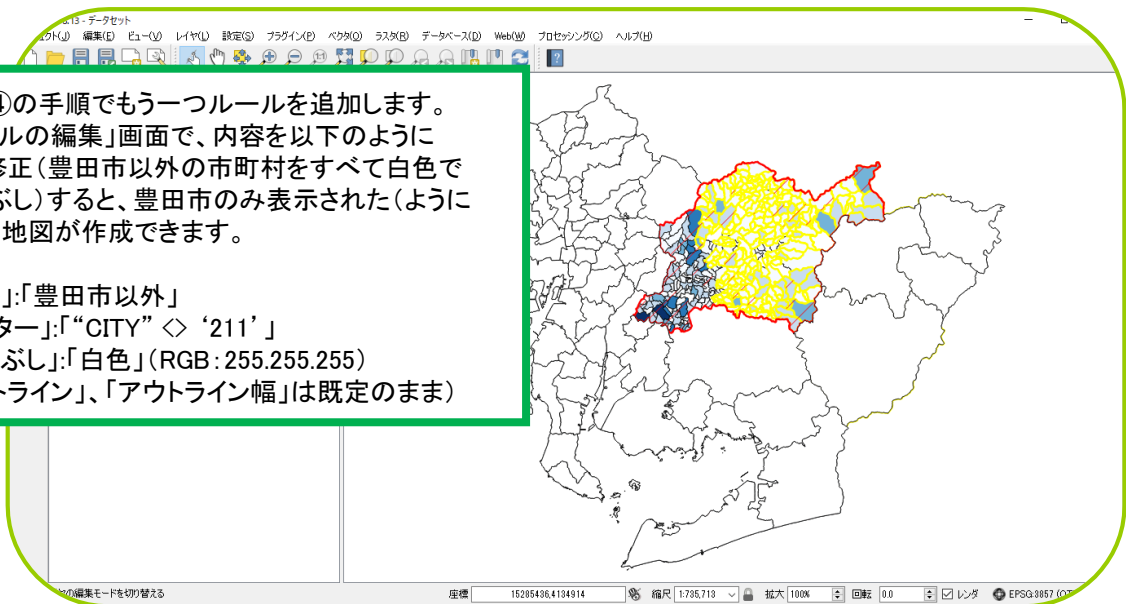
「ラベル」 「豊田市」
「フィルター」※ 「"CITY" = '211」
「塗りつぶし」 「透過塗りつぶし」
「アウトライン」 「赤色」
「アウトライン幅」 「0.6」

※ データCSVファイルのC列「city」は文字列として認識(CSVファイルで「String」と設定)されていますが、上例のように、値(この例では市町村コード「211」)を「'」(アポストロフィ)で囲うことで、データとして使用できます。



⑤ ②～④の手順でもう一つルールを追加します。「ルールの編集」画面で、内容を以下のように変更・修正(豊田市以外の市町村をすべて白色で塗りつぶし)すると、豊田市のみ表示された(ように見える)地図が作成できます。

「ラベル」:「豊田市以外」
「フィルター」:「"CITY" <> '211」
「塗りつぶし」:「白色」(RGB: 255.255.255)
(「アウトライン」、「アウトライン幅」は既定のまま)

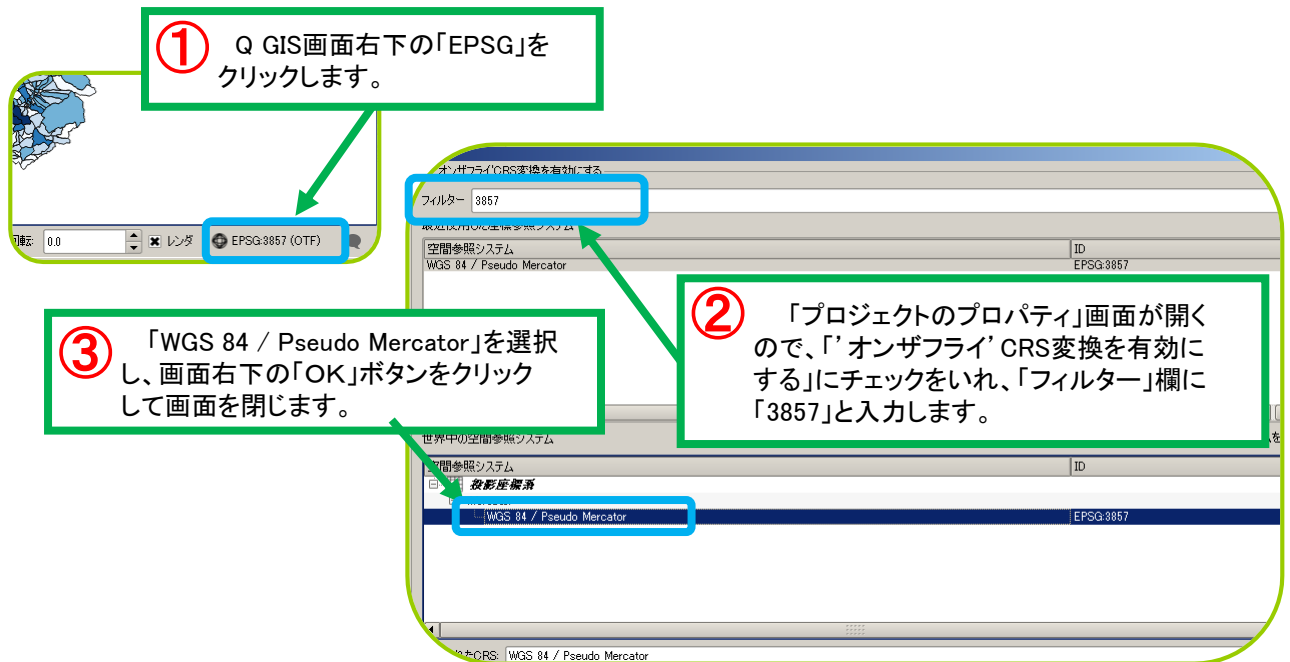


「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

9. 地図の表示(図法)を変更する方法

Q GISで表示する地図の図法を変更し、歪みをなくします。

※ この操作例で用いる地図(球面(半径6378137m)メルカトル図法、SRID:WGS84、空間参照系:ESPG3857)は、Webの地図アプリケーション等でよく用いられているものです。

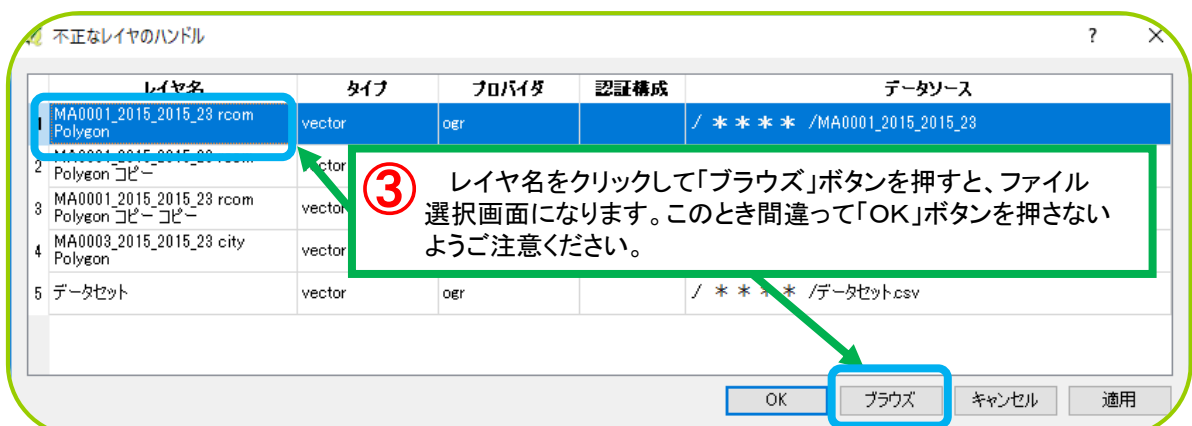


10. プロジェクトの保存方法

① 作成した地図を保存するには「プロジェクト(J)」メニューの「名前をつけて保存(A)」を選択します。なお、作成した内容を保存するプロジェクトファイル(拡張子「.qgs」)は、csv、csvt、農業集落境界情報の各ファイルと同一のフォルダへ保存することをお勧めします。

② このプロジェクトファイルには、使用したcsv、csvt、農業集落境界情報の各ファイルのファイル名や保存場所が記録されます。ファイル名を変更したり、ファイルの保存場所を変えると、プロジェクトが復元できなくなります。ファイル名等を変更した場合、保存したプロジェクトファイルを開くと「不正なレイヤのハンドル」画面が開くので、正しいファイルの場所等を指定します。

※ ①でお勧めの【各データファイルとプロジェクトファイルを同一フォルダ内へ保存】とすれば、このフォルダごと他の場所へ移動することは問題ありません。



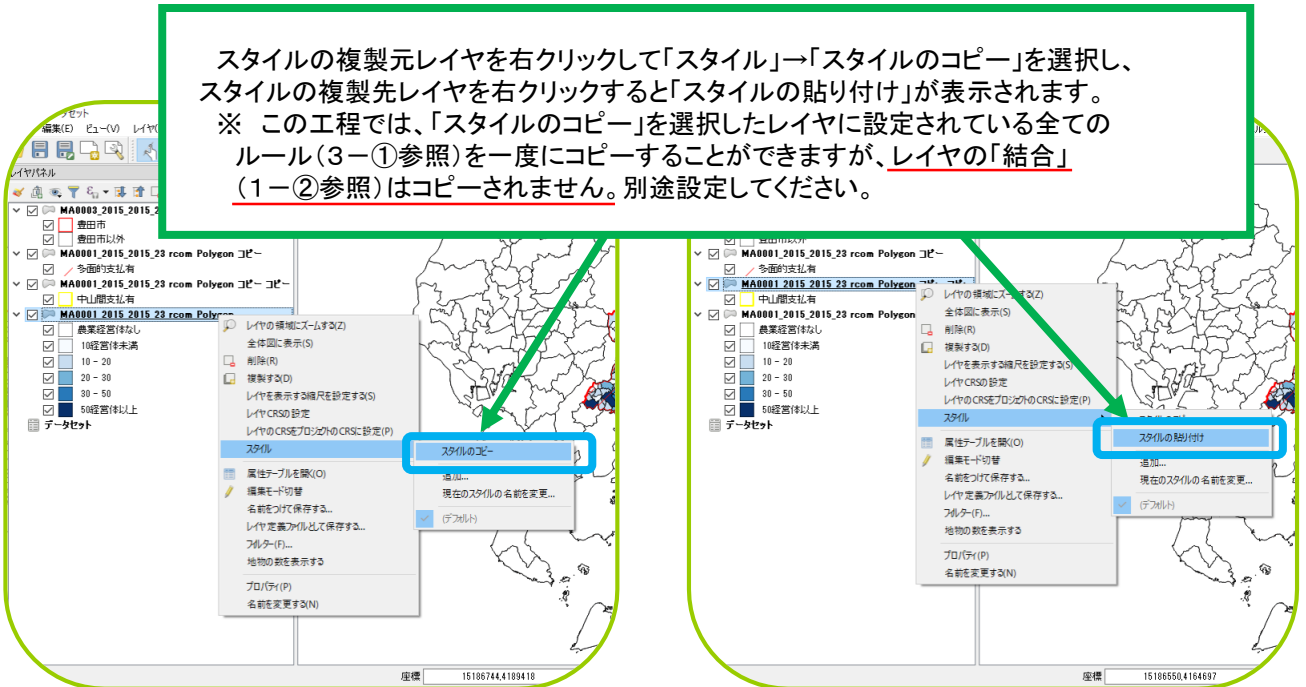
「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

11. その他

(1) レイヤスタイルのコピー

あるレイヤのスタイルを、別のレイヤへコピーすることができます。

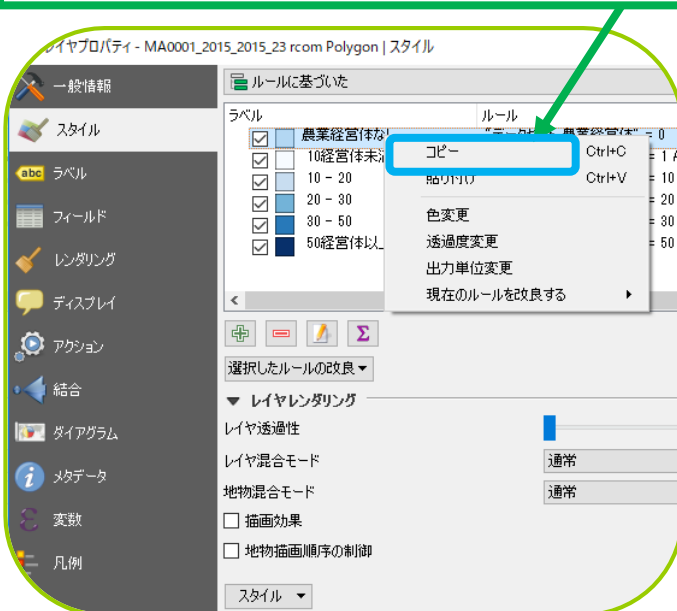
スタイルの複製元レイヤを右クリックして「スタイル」→「スタイルのコピー」を選択し、スタイルの複製先レイヤを右クリックすると「スタイルの貼り付け」が表示されます。
※ この工程では、「スタイルのコピー」を選択したレイヤに設定されている全てのルール(3-①参照)を一度にコピーすることができますが、レイヤの「結合」(1-②参照)はコピーされません。別途設定してください。



(2) 個別ルールのコピー

「レイヤプロパティのスタイル」画面でルールをコピーし、そのルールだけを同じレイヤ、または別のレイヤにコピーすることができます。

ルールを複製元レイヤをダブルクリックして「レイヤプロパティのスタイル」画面(3-②参照)を開き、複製元のルールを右クリックし「コピー」を選択すると、そのルールだけを同じレイヤ、または別のレイヤにコピーすることができます。



※ この工程では、「(1) スタイルのコピー」とは異なり、選択したルールのみをコピーすることができます。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

(3) レイヤパネルからのルール変更

レイヤパネルにあるレイヤの各ルールを、直接変更することができます。

The screenshot shows the GIS software interface. The Layer Panel on the left lists several layers, including 'MA0802_2015_20 city Polygon'. A blue box highlights the 'MA0802_2015_20 city Polygon' layer. A green arrow points from this layer to a callout box. The main map area shows a map of Japan with a yellow polygon representing the city of Maebashi. A green arrow points from the yellow polygon to a callout box. The Color Panel is visible on the left, showing a color wheel and a color palette. A green arrow points from the color wheel to a callout box. The Symbol Selector dialog box is shown at the bottom, with a blue arrow pointing to it from the Layer Panel.

① レイヤパネルに表示されているレイヤのルールを右クリックすると、カラーパネルが表示されます。

② カラーパネルのカラーホイール、またはカラーパレットをクリックすると、ルールの塗りつぶしの色を変えることができます。

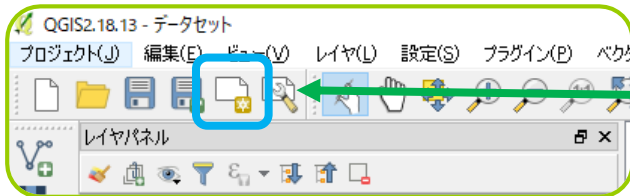
③ 「シンボル編集」をクリックすると、「シンボルセクタ」画面が表示され、レイヤタイプや、線種、色などを変更できます。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

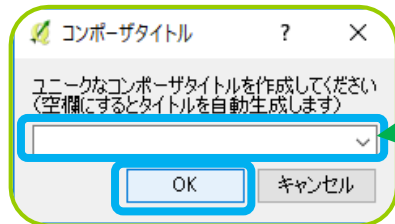
Step3 印刷または画像として保存する

1. 「プリントコンポーザ」を開き、印刷設定を行います。

(1) 新規に「プリントコンポーザ」を開く場合

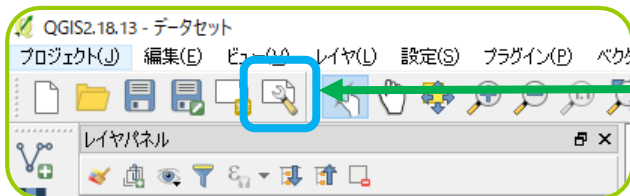


① 上のツールバーにある「新規プリントコンポーザ」をクリックします。

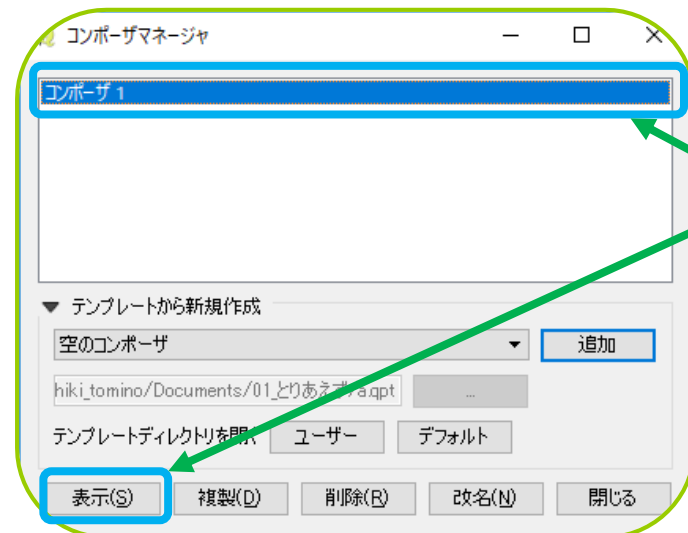


② 「コンポーザタイトル」画面が開くので、コンポーザの名前を入力し「OK」ボタンをクリックするとコンポーザが開きます。(何も入力せずに「OK」ボタンをクリックすると「コンポーザ〇」と自動で付与されます。)

(2) 保存済みコンポーザを開く場合



① 作成済みのコンポーザを利用する場合は、上のツールバーにある「コンポーザマネージャ」をクリックします。



② 「コンポーザマネージャ」画面が開くので、利用したいコンポーザを選択し、「表示」ボタンをクリックすると、指定したコンポーザが開きます。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

2. 地図枠を作成します。

① コンポーザ画面の「コンポジション」タブにある「方向」欄で、用紙の縦横を設定します。

一つ角のから対角へドラッグしながら移動。地図枠が作成される

② ア 左ツールバーの「新規地図を追加」をクリックします。
イ 描画エリアで、地図枠としたい一角をマウス左クリックでポイント、ドラッグしながら対角でもう一度ポイントします。
ウ 設定した地図枠に、作成した地図が表示されます。
(地図枠の大きさは後で変更できます。)

←ドラッグ→

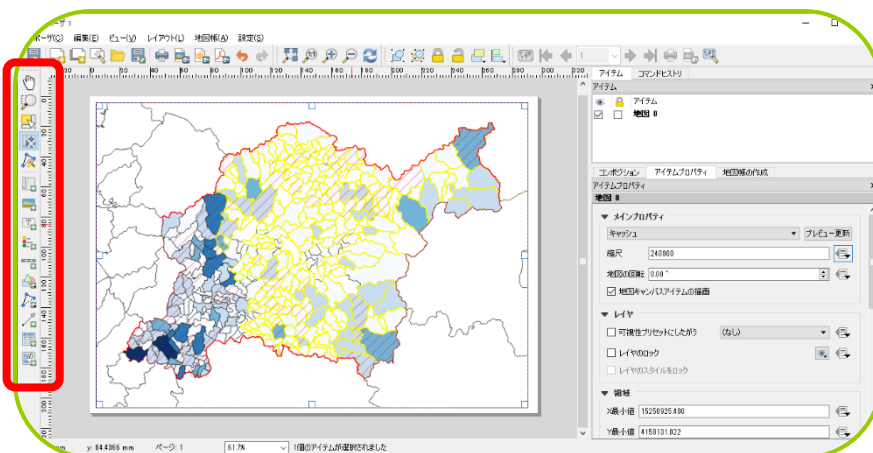
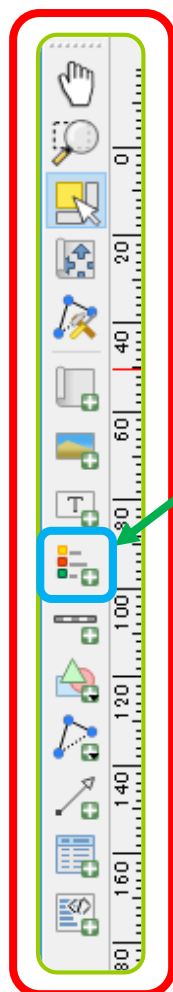
③ 地図の大きさを変えるときは、「アイテムプロパティ」タブの「縮尺」欄の数値を変更します。

④ 地図を動かすときは、ア 「アイテム内のコンテンツを移動」をクリックします。
イ 地図を任意の位置へドラッグします。

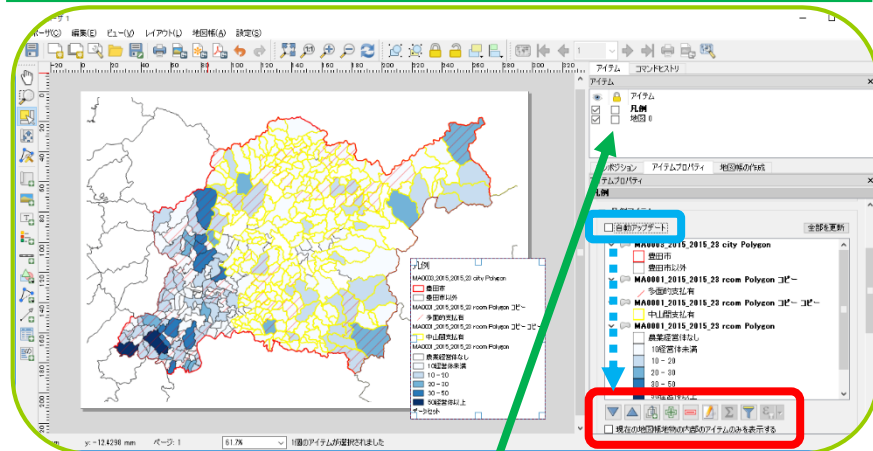
22

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

3. 凡例を作成します。



- ① 左ツールバーの「新規凡例追加」をクリックし、2-② イ〜ウと同じ方法で描画エリアへ枠を作成すると、地図に表示されているレイヤの凡例が表示されます。
(凡例枠の大きさは後で変更できます。)



- ② 「アイテムプロパティ」タブにある「自動アップデート」のチェックを外すと操作パレットが有効となり、表示するアイテムを選択したり、表示する文字を変更することができます。

選択した凡例アイテムを上下に移動できます。

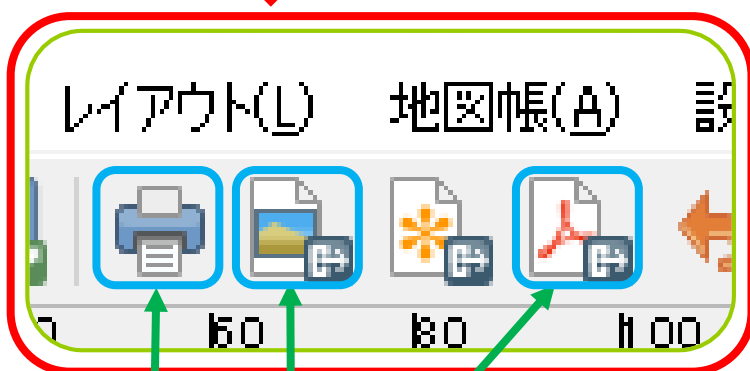
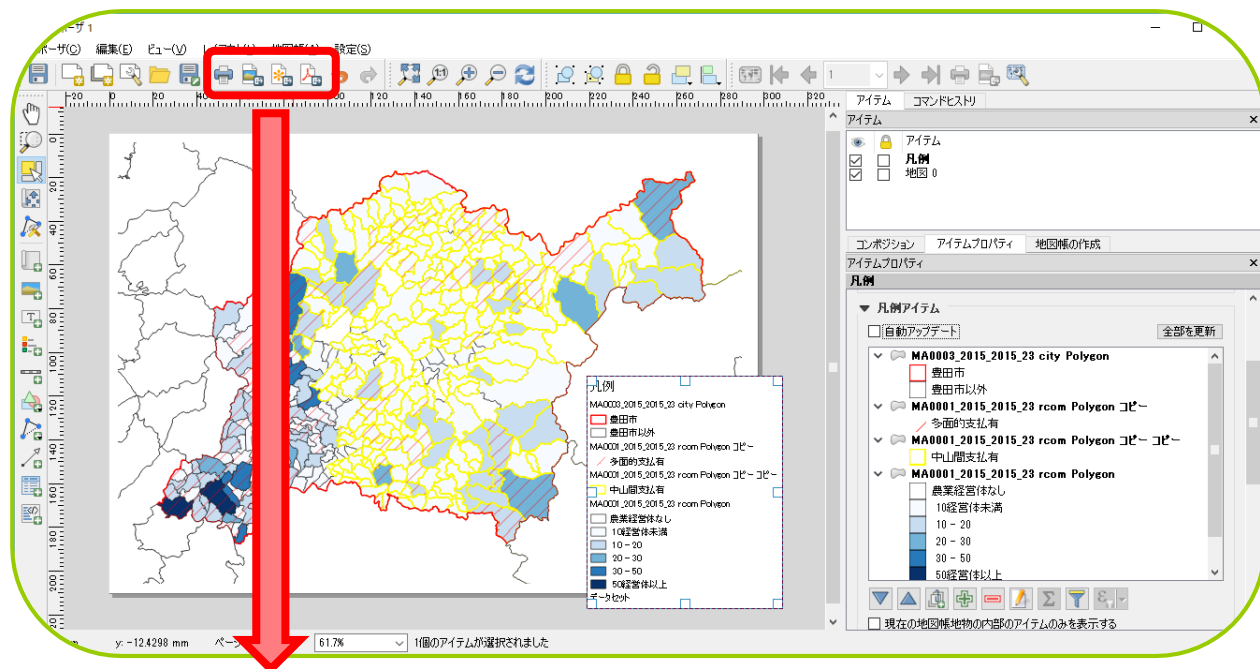


選択した凡例アイテムを削除、又は新たな凡例アイテムを追加できます。

選択した凡例アイテムの文字を編集できます。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

4. 「印刷」及び「画像として保存」を行います。



- 「PDFとしてエクスポート」
クリックすると、「コンポジションの保存」画面が開くので、「保存場所」、「ファイル名」、などを適宜設定し保存します。
ただし、「ファイルの種類」はPDF形式しか選択できません。

- 「イメージとしてエクスポート」
クリックすると、「コンポジションの保存」画面が開くので、「保存場所」、「ファイル名」、「ファイルの種類」などを適宜設定し保存します。
ただし、「ファイルの種類」は画像ファイル形式しか選択できません。

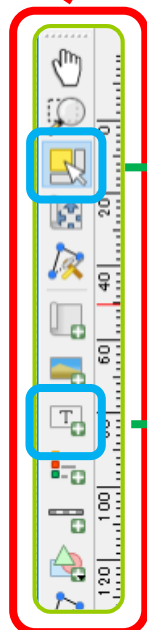
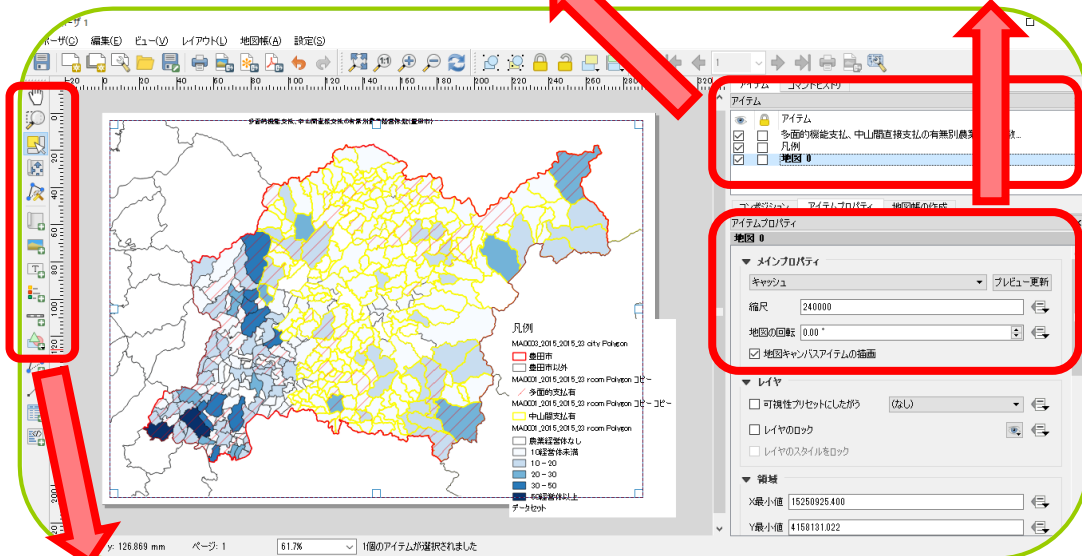
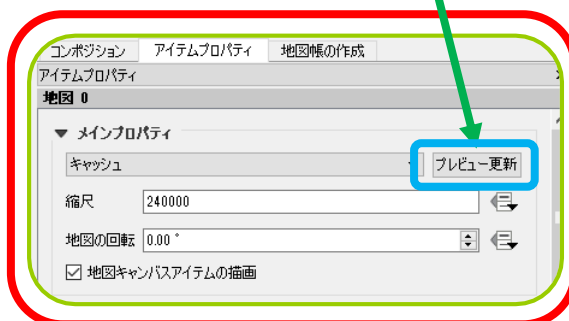
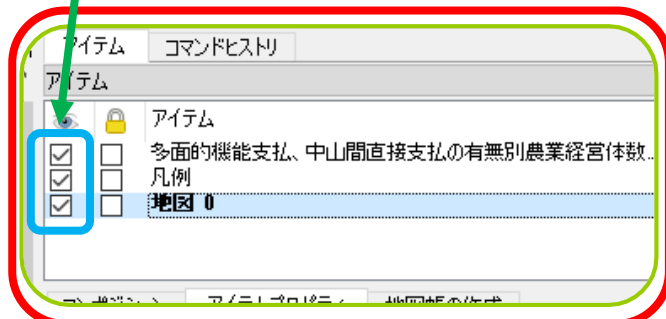
- 「印刷」
クリックすると、お使いのパソコンに設定されたプリンターが開くので、適宜設定し印刷します。

「地域の農業を見て・知って・活かすDB」

5. その他の操作

チェックを外すことで、一時的にアイテムを非表示にできます。

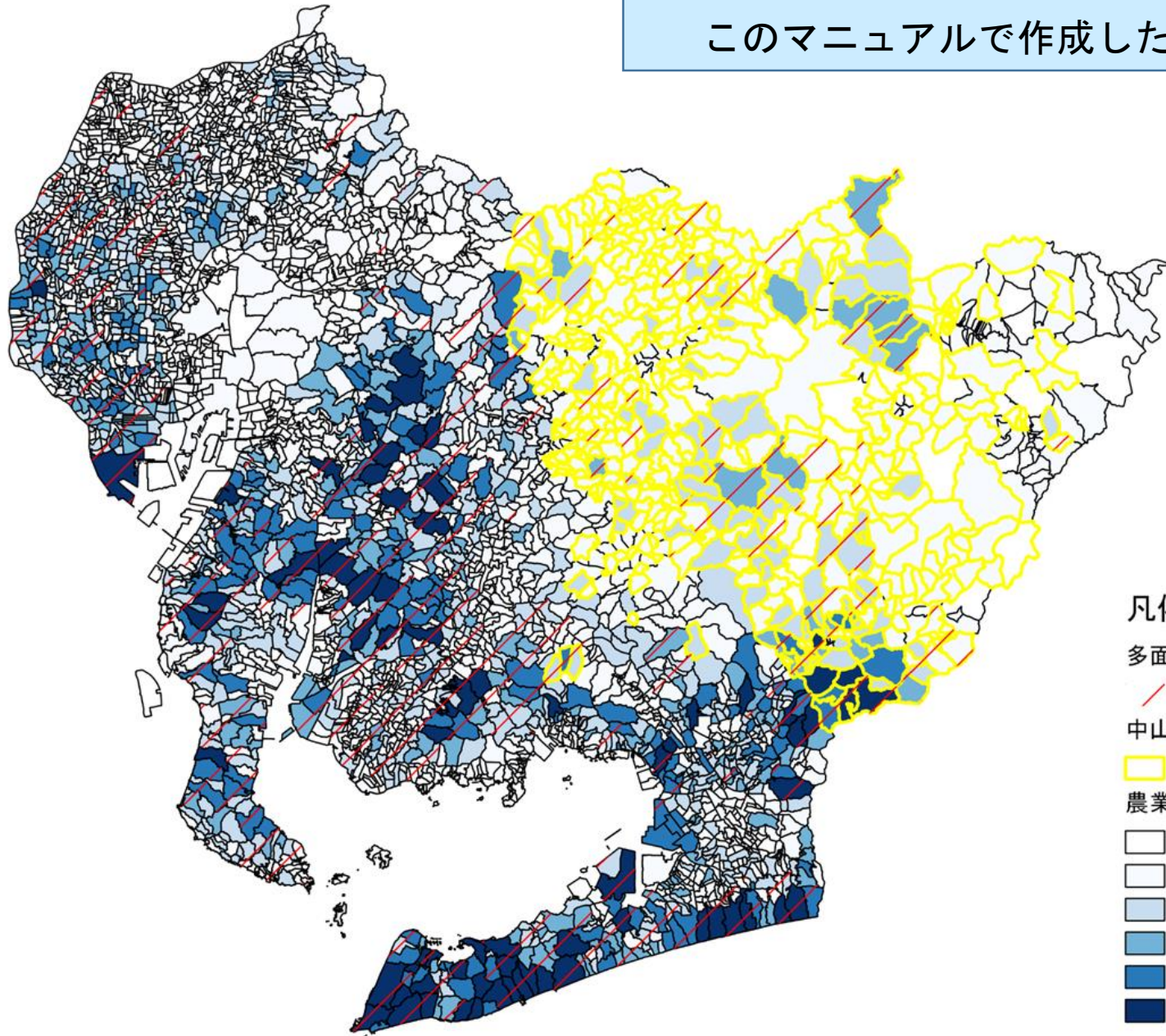
「プレビュー更新」をクリックすると、コンポーザ画面に表示された地図が更新され、実際の印刷や各種ファイルの出力画面を確認できます。



「アイテムを選択/移動」をクリックすると、アイテムの位置やサイズを変えることができます。

「新規ラベル追加」をクリックすると、タイトルなどの文字を追加できます。

このマニュアルで作成した図 ①



多面的機能支払、中山間地域直接支払の有無及び農業経営体数（豊田市）

このマニュアルで作成した図 ②

